

第31回新発田市入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	平成26年6月26日（木）新発田市役所別館4階会議室	
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 抽出工事等の審議について (2) 第32回委員会開催に伴う抽出委員の指定について (3) その他 	
委 員 (委員数5名) (出席数5名)	委員長 山田 耕太 (大学教授) (出席) 委員 八木 庸一 (税理士) (出席) 委員 伊藤 秀夫 (弁護士) (出席) 委員 三田村 ルミ (公募委員) (出席) 委員 榎本 朗子 (公募委員) (出席)	
審議対象期間	平成26年1月1日～平成26年4月30日	
抽出案件	6件（対象工事総件数17件）	
制限付 一般競争入札	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・教受線第1号 旧川東小学校校舎・体育館解体工事 ・雨補線第1号 新井田川1号雨水幹線整備工事 ・自災第1号 新発田川雨水幹線整備工事 ・農整む加第2号 大樋排水路整備その2工事 ・農整む加第3号 大樋排水路整備その3工事 概算設計（全体） ・改整第2号 茗荷谷地区増圧ポンプ場設置工事
公募型 指名競争入札	0件	
通常 指名競争入札	0件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具申内容	特になし	
その他	傍聴者2名	

意見・質問	回答
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 抽出工事等の審議について</p> <p>(教受繰第1号 旧川東小学校校舎・体育館解体工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近は辞退者が増加しているが、予定価格の設定に問題はないのか。要するに資材や人件費の高騰が原因で、利益を考えて応札しないのではないか。 また、辞退した原因の聞き取りは行っているか。 ・辞退した業者は早い段階で辞退したのか。 ・要件10で石綿に関する特殊な技術を持っていることを必要としているのか。 <p>(自災第1号 新発田川雨水幹線整備工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価の技術評価点に差がついていますが。 ・工事成績評価点は工事の受注がなければ配点できないのですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・辞退した原因については、特に聞き取りは行っていません。 また、この工事に限っては解体工事ですので資材の高騰が原因というよりは、技術者がいないといった会社の事情が考えられるのではないかと。 ・辞退した時期は特定できないが、辞退届が提出されている。 ・解体をするに当たり、あらかじめ石綿を含んでいることがわかる場合もありますし、工事の途中で出てくる場合もあるので、石綿の技術のある業者と契約したいということで要件を付している。 ・技術評価点15点のうちで一番大きいのが配点6点の工事成績評価点であり、この差が要因であると考えられる。 ・以前、実績なしはなかったのですが、新規参加者が不利に働くことのご意見があって、新たに実績なしを0点とし、さらにマイナス点を設けました。

意見・質問	回答
<p>・技術評価点15点、価格評価点85点を変更する予定はありますか。</p> <p>(農整む加第2号 大樋排水路整備その2 工事)</p> <p>・10者以上の参加が見込まれる中で、参加者が3者でうち1者辞退し、落札率も高いですが、何か要因が考えられますか。</p> <p>(農整む加第3号 大樋排水路整備その3 工事 概算設計(全体))</p> <p>・この工事も4者の入札ですが、大樋排水路整備に係るものが入札に参加しにくいのでは。 また、これは排水路を整備する工事ですか。</p> <p>・この大樋排水路は長いのか。</p> <p>・かなり中長期的な計画で工事を行っているのか。</p> <p>・契約の履行期限は発注課で決めるのか。</p> <p>・このような短い工期では、できないと考える業者もいるのか。</p>	<p>・今のところ予定はありません。</p> <p>・土木工事のBランクで原則10者以上の参加が見込まれることから大丈夫だろうと考えていたが、結果は3者であった。ただし、この工事については、1月という時期や工期も短いといったことが要因で参加が少なかったことが考えられる。</p> <p>・そうですね、水系は同じですが、場所が違うということです。この工事は大きなU字溝みたいなものを布設していくものです。 年度末で工期が短いといったところで参加が少なかったのかもしれない。</p> <p>・旧加治川村地内に流れる川で、年次的に工事を続けています。川を残地が生まれるように、ブロック化する工事を行っています。</p> <p>・そうだと思います。川を工事するものについては、年次的な計画で行うものが結構あります。</p> <p>・工事担当課で工事日数や履行期限の日付を設計書に示してきます。</p> <p>・それもあると思います。</p>

意見・質問	回答
<p>・担当課で工事の規模に応じて、ある程度の期間でできるであろうと考えるのですか。</p> <p>・予算執行上の問題で工期が3月末という場合もあるのか。当然、年度内に工事の検査を完了していないといけないのでは。</p> <p>(改整第2号 茗荷谷地区増圧ポンプ場設置工事)</p> <p>・内訳書の提出がないため失格となっておりますが、単に失念しただけでしょうか。</p> <p>・自分の技術評価点が他と比べて低いというのはわからないのですか。自社の技術評価点が低いから意図的に失格としたわけではないのですね。</p> <p>・第1順位者だけが予定価格内におさまっている結果ですが、この場合、他の業者は失格にはならないのですか。</p> <p>・この工事は予定価格が低すぎたのでは。何か事情が考えられますか。</p> <p>・こういったポンプを設置する工事はそんなに多いものではないですね。</p>	<p>・工事においては、金額に応じた標準工期というものがあるので、これに基づいて設定していると思います。</p> <p>・当然、単年度予算でありますので完成していないといけません。</p> <p>基本的に当課の指導として、繰越しを前提として工期を決めた発注は認めていない。基本的には年度内に終わる工事しか発注していない。繰越しを行う場合は議会等の所定の手続きを得た後に発注するようにさせています。</p> <p>・電子入札に添付する書類を単に間違えただけかと思われます。</p> <p>・各社の技術評価点は入札が終了し落札候補者が決定した時点で発表している。ただし、業者はある程度自己採点はできます。時折、入札結果と自己採点した評価点に対する問い合わせがありますが、今のところみなさんには納得していただいています。</p> <p>・最低制限価格を下回った場合は失格となりますが、予定価格以上は失格ではありません。この場合、全業者が予定価格以上になれば再入札になります。</p> <p>・この工事は見積りによるものが多いのですが、それが一つの要因かもしれません。</p> <p>・この工事のように水道施設工事で発注する工事の数は少ないですね。</p>

意見・質問	回答
<p>・ポンプ自体の値段が高いのでしょうか。</p> <p>・この第3三半期は年度末もあつてか、ピーク時に比べると工事の数が少ないですね。</p> <p>(その他)</p> <p>・各三半期の考え方を年度に合わせた方がよい。また、「請負者別契約件数及び契約金額の割合」の資料ですが年度ごとの比較があつた方がよい。</p> <p>・総合評価方式の工事成績点のプラスとマイナスのボーダーラインである75点の根拠はありますか。</p> <p>・将来平均点が変われば、ボーダーラインを変えなければいけないのですか。</p> <p>(2) 第32回委員会開催に伴う抽出委員の指定について</p> <p>・次回の事案抽出を三田村委員に委任。</p> <p>4 閉会</p>	<p>・ポンプやシステムが高いと思われます。ポンプはユニット化されたものを持ってきて設置するだけだと思います。それに加えて、道路に5.5m程流入管を布設する工事もあります。</p> <p>・工期も短くなることから少ないですね。特に大型工事の発注は少ないですね。この三半期中で1番大きな工事の工期は年度を超えて設定されています。最初から年度繰越しの承認を受けて工期が設定されています。それと、どうしても工期が短くなるので金額の低い工事が多くなるかと思います。</p> <p>・次の委員会に工種ごとと請負者別の資料を加えさせていただきます。</p> <p>・年度が終了した時点の市全体の平均点を参考に設定しています。</p> <p>・そうですね、ただし、平均点が1、2点の差であれば現状の75点で様子を見ていきたい。</p>